

令和5年度

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもたちの豊かな心を育むため平成14年度より実施している本事業は22年目を迎えました。

今年度は「届けたい 未来へつなぐ 十七字」のキャッチフレーズの下、「絆部門」「ふるさと部門」の2部門で作品を募集しました。県中域内では絆部門では6,691組、ふるさと部門では2,238組、合わせて8,929組の方々から御応募いただきました。御協力をいただきました市町村及び市町村教育委員会、幼・保、こども園、小・中・義務教育学校、県立各学校、公民館、そして選考に御協力いただきました福島県公立学校退職校長会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、9月27日に行われた県中域内第一次選考会では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より20名の皆様に選考委員としておいでいただきました。厳正な選考の結果、絆部門より335組、ふるさと部門より115組の優良作品を選定していただき、県の第二次選考会へ送ることができました。第二次選考会を経て、県中域内からは22組の優秀な作品が最終選考会へと選出されました。11月8日の最終選考会の結果、県中域内から最優秀賞に1組（絆部門）、優秀賞に2組（絆部門1・ふるさと部門1）、佳作に4組（絆部門3・ふるさと部門1）の計7組が入賞を果たしました。また、「県中奨励賞」として最終選考に進むも惜しくも入賞を果たせなかった15組（絆12組、ふるさと3組）を、「学校賞」として全校をあげて取り組み、優れた作品を数多く生み出した学校の27校、1園を表彰しました。

寄せられた作品には、家族や身近な人たちとの何気ない日常の会話、やりとりに目を向けたことで生まれた感謝の気持ちや改めて感じた相手への思い、ふるさと「ふくしま」の復興への願い、震災の記憶の継承に向けた思いなどが五・七・五の十七文字に込められていました。

県中教育事務所では、入賞作品や第一次選考会において通過した作品を多くの方々に御覧いただきたく、作品集を発刊し、教育委員会及び各学校、公民館等へ配付いたしました。この作品集を通して、子どもたちの瑞々しい感性や子どもたちを見守る身近な人々の思いや願い、家庭や地域の絆を感じ取ってもらえることを願っております。

令和5年12月

福島県教育庁県中教育事務所長 齋藤 仁道

県の表彰式は令和5年12月9日（土）に福島テルサにて行われました。県中地区からは最優秀賞1組（絆部門）が表彰されました。

県の表彰式の様子は、福島県教育委員会ホームページに紹介されますので、こちらからご覧ください。

福島県教育庁社会教育課（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/sykaikyoiku470.html>）



県中域内表彰伝達式



R5.12.12 須賀川市立西袋中学校
(佳作、学校賞)



R5.12.12 須賀川市立第二中学校
(最優秀賞、佳作、学校賞)



R5.12.13 玉川村立須釜小学校
(佳作、学校賞)



R5.12.13 浅川町立浅川小学校
(佳作、学校賞)



R5.12.14 須賀川市立義務教育学校稲田学園
(優秀賞、奨励賞、学校賞)



R5.12.15 小野町立小野小学校
(優秀賞、学校賞)